

皆さんは「羅生門」と聞いて何を思い浮かべますか。芥川龍之介の小説（1915年）か、黒澤明の映画（1950年）か、今昔物語、またはそれらの舞台となった平安時代京都の朱雀大路の南端にあった「羅城門」でしょうか。今回はそれらとは違った岡山県のカルスト台地にある国の天然記念物（昭和5年指定）「羅生門」とその周辺を紹介します。あまり有名な観光地ではありませんので、いらっしゃったことがある方は少ないのではないのでしょうか。この「羅生門」は、地下でできた鍾乳洞が一部を残して崩落し、石灰石のアーチ型門が出来たものです。海拔400m程の山中のドリーネ内に、駐車場から数百mで第一門、さらにそれを抜けると第四門まであり、2か所に展望台も設置されていて、最奥には第一洞と言われる吸込み孔があるようです。洞口から吹き出す風の低温多湿な自然条件によって、高山性や北方系、さらに南方系や亜熱帯の蘚苔類や地衣類の隔離分布もあり、洞穴昆虫も生息し、貴重な動植物の宝庫との説明看板がありました。7月初旬にヒメボタルも見られるそうです。「夏でもモヤが立ちこめ冷気も感じられ鬼気迫る威容」からの命名のようです。2007年に「日本の地質百選」に、2009年に「新見癒しの名勝遺産」に指定されています。途中からは小藪を抜けていくところもあり、駐車場から一人で貸切の状態でしたので、野生動物との遭遇にも注意して歩きましたが、それ以上に「アーチ型もいつかは崩落するだろうが、今であってくれるな」と祈りつつ足早に門を抜けました。2017年2018年に発生した落木や落石で、現在は門をくぐることはできず、第一門の手前までしか行けないようです。グーグルマップ360°写真（2020年10月更新）にも「落木、落石のおそれがあるため立入禁止」の看板と柵が写っています。上の写真は、第一門（高さ38m、幅17m、映画八つ墓村のポスターのひとつの撮影場所）です。







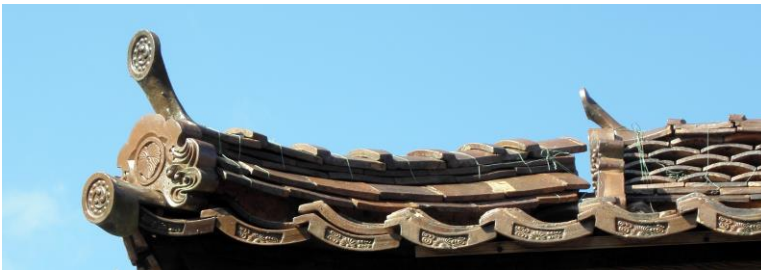


財)と同じ江川三郎八設計とのことです。訪問したのは閉校した年でした。その後、地盤や建物補強の為、2015年から解体修理が始まり2022年2月に竣工したとのこと。近くにある赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された赤い街並みの「吹屋ふるさと村」は、1977年に国の重要伝統的建造物群保存地区に、2020年に日本遺産の認定を受けています。

旧吹屋小学校



吹屋ふるさと村



西江邸 (登録有形文化財)



吹屋銅山笹畝坑道



吹屋中心部より南 3km 程に銅山とベンガラで財をなした庄屋広兼邸、西北西 2km 程には代官御用所の西江邸があります。南 1km 程に吹屋銅山の笹畝坑道もあります。銅とともにベンガラの材料酸化鉄を産出したところ。

旧吹屋小学校から東北東 16km 程の真庭市の高岡神社は、岡山県郷土自然保護地域に指定されていて、石段の両側に樹齢 100 年を超す杉・桧やアラカシが並んでいます。「平安杉」(推定樹齢 800 年超、幹回り 8.5m) は市指定の天然記念物です。高さ 10m、柱径 1m の大鳥居は、同じ真庭市の茅部神社 (石造り鳥居日本一) に次ぐ県内で 2 番目の大きさとのことです。

(写真撮影 2012.11.03)

高岡神社 大鳥居



平安杉



< Google マップ参照 >

URL は、下の「PDF はこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

羅生門

<https://www.google.com/maps/@34.9381848,133.5603092,17.52z>

井倉洞

<https://www.google.com/maps/@34.929223,133.5229764,15.9z>

旧吹屋小学校

<https://www.google.com/maps/@34.8632315,133.4705468,18.54z>

広兼邸

<https://www.google.com/maps/@34.8402458,133.4662261,15.13z>

西江邸

<https://www.google.com/maps/@34.8699871,133.4489958,16.19z>

高岡神社

<https://www.google.com/maps/@34.9173874,133.6266563,17.58z>

(2023.07.01)